

第 80 期 決 算 公 告

2025年5月31日

神奈川県伊勢原市桜台三丁目17番1号
グンゼ高分子株式会社
代表取締役 古谷 賢一

貸 借 対 照 表

(2025年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	286,574,018	流動負債	176,665,449
現金及び預金	1,964,975	支払手形	58,165,548
製品	41,680,493	買掛金	37,631,341
仕掛品	2,665,445	未払金	15,824,846
原材料	77,072,170	未払費用	21,989,916
貯蔵品	6,790,817	未払法人税等	634,800
前払費用	185,933	未払事業税	4,390,500
未収入金	3,449,599	未払消費税	20,164,900
短期債権	166,580	預り金	4,242,242
売掛金	7,854	前受収益	18,000
親会社短期貸付金	152,590,152	賞与引当金	13,603,356
固定資産	655,703,785	固定負債	102,944,144
有形固定資産	620,874,568	退職給付引当金	102,926,144
建物	100,969,710	長長期前受収益	18,000
構築物	1,397,229		
機械装置	76,018,208		
車輛運搬具	1,683,507		
工具器具備品	140,503		
土地	436,540,411		
建設仮勘定	4,125,000		
無形固定資産	1,499,166		
施設利用権	1,499,166		
投資その他の資産	33,330,051		
投資有価証券	1,438,016		
出資金	60,000		
破産債権等	632,400		
長期前払費用	509,130		
差入保証金・敷金	220,000		
繰延税金資産	31,102,905		
個別評価貸倒引当金	△ 632,400		
		負債合計	279,609,593
		(純資産の部)	
		株主資本	662,203,943
		資本金	300,000,000
		資本剰余金	103,940,000
		資本準備金	103,940,000
		利益剰余金	258,263,943
		利益準備金	47,820,000
		その他利益剰余金	210,443,943
		別途積立金	22,000,000
		繰越利益剰余金	188,443,943
		評価・換算差額等	464,267
		その他有価証券評価差額金	464,267
		純資産合計	662,668,210
資産合計	942,277,803	負債純資産合計	942,277,803

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、製品、仕掛品、原材料、貯蔵品

移動平均法に基づく原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

② 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定)

イ 時価のないもの

移動平均法に基づく原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法

② 無形固定資産

定額法

ただし、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する部分を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社はプラスチックフィルム・チューブの製造・販売を行っております。これらの製品については、顧客が当該製品を検収した時点で履行義務が充足されると判断しており、通常は当該時点で収益を認識しておりますが、国内の販売において、出荷時から顧客が検収するまでの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① 消費税等の会計処理は、税抜き方式によっております。

② グループ通算制度を適用しております。

2. 当期純利益金額

当期純利益金額

49,965,122円